

平成 26 年度 阿賀野市営バスの運行状況

1 現在の公共交通について

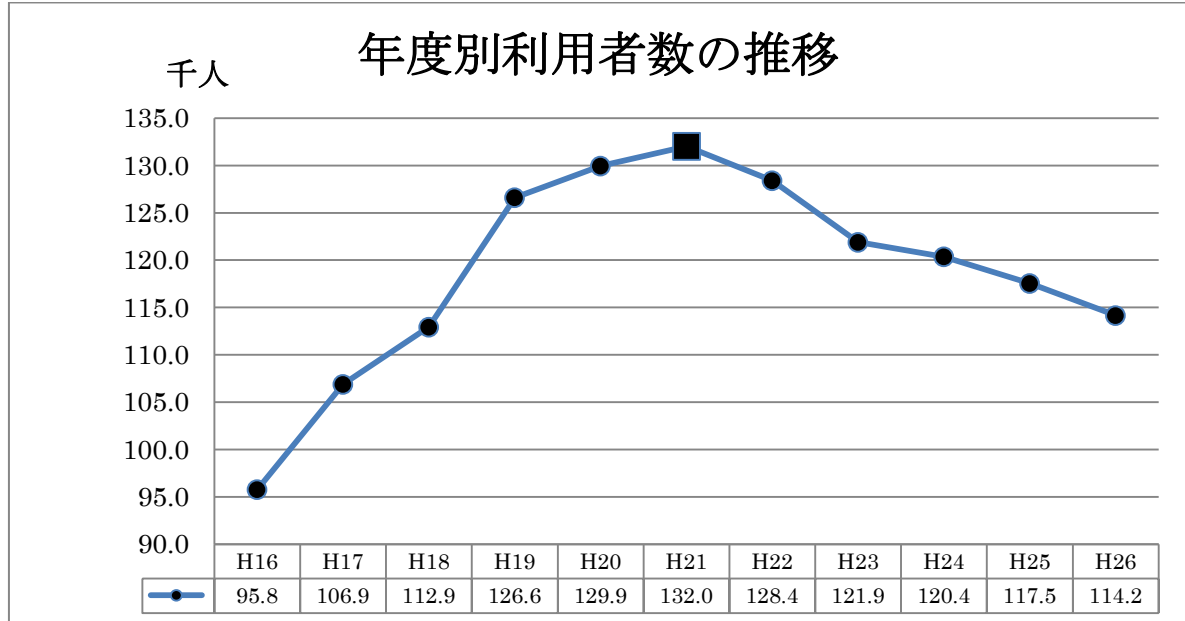
阿賀野市内における公共交通は、市外へ通じる幹線交通である鉄道、民営路線バスを軸に、水原市街地から放射状に広がる阿賀野市営バスを平成16年度から運行し、公共交通網が市内全域に広がっています。



市営バスは11路線運行し、朝夕は主に学生のため、日中は移動の手段を持たない高齢者を中心とした通院や買い物など、生活に必要な交通として機能しております。また、新潟市・新発田市に通じる鉄道駅、新潟へ通じる民営路線バスの幹線交通に対する支線の役割も果たしています。

2 市営バスの利用状況

平成 16 年度の運行開始から増加を続けていた市営バスも、平成 21 年度から固定利用者や学生の減少、高齢者の自家用車運転が増加することにより、徐々に利用者が減少しています。



(平成 26 年度路線別の利用者数)

単位：人

系統	路線名	利用者数	1日平均利用者数	対前年度増減
100	五頭温泉郷線	18,761	52.8	△8.1%
200	分田線	20,565	85.3	2.4%
300	千唐仁線	10,397	43.1	15.7%
350	江端線	8,117	33.7	2.4%
400	寺社線	8,490	29.0	△15.8%
500	大室線	6,220	25.8	△7.8%
600	駒林線	7,679	31.9	△1.0%
700	前山線	3,287	13.6	△10.9%
800	折居大日線	10,480	43.5	△4.4%
900	神山線	8,283	34.4	△6.6%
00A/00B	安田地域循環線	11,877	49.3	△4.9%
	合計	114,156	442.4	△2.8%

平成 25 年度の市営バス利用者数は、1 日平均 442.4 人となり前年度 462.2 人から 12.6 人減少し、平成 21 年度から連続して前年度を下回る結果となりました。利用を大きく下げている路線は、寺社線と前山線であり、逆に利用を伸ばしている路線は、分田線、千唐仁線及び江端線となっています。